

◆ニックネーム・グループ名（人数）

まーちゃんひーちゃん（ 1 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

生ゴミと飢餓のない世界へ

活動の動機

テレビで残食が多いことが問題だと話題に上がっているのを見たことがあります。生ゴミに捨ててしまっているものの中には食べれるのに捨ててしまっているのもあると考え、実践したいと思いました。

取組・活動 実施日

令和3年7月17日から令和3年8月10日



ゴール

2 12 16

解決したい地域の課題

ゴミ捨てに行った時に年々生ゴミの量が増えていると感じていたため、一人一人が出来るだけ食べれるものを捨てないように意識し食品ロスをなくす。

目指す将来の姿

残食として捨ててしまうものを減らして、調理する前に飢餓で苦しんでいる人たちや地域に寄付したりしていけるような世界になるといいなと思います。飢餓で苦しんでいる人の数を減らし、残食の量も同時に減らせる世界が実現してほしいです。

活動の内容

まず生ゴミとして捨ててしまう部分を少なくする取り組みで、じゃがいもの皮を剥かずに芽だけ取り除いて塩茹でした。ブロッコリーは茎や葉の部分を捨てずに一緒に茹でました。次に残食を出さないために人数分の分量を計算して測ってから材料を切るようにしました。最後に生ゴミや残食として捨ててしまう部分を少なくするために期限の近いものを手前に置いて期限の近さに分けて付箋の色を変えてつけました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

めだまやき（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

人参まるごとスープをつくろう！

活動の動機

日本の食品ロスは年間600万トンになっている。そのうち、家庭系食品ロスは276万トンと、家庭系食品ロスの割合が高いことに驚いた為、家庭から排出される食品ロスを減らそうと考えた。



取組・活動 実施日

令和3年8月12日

ゴール

1 2 16

解決したい地域の課題

消費期限切れの食べ物を捨ててしまったり、皮を必要以上に捨てて、生ゴミをたくさん排出したりする食品ロスをなくしたい。

目指す将来の姿

食品ロスを削減することで、食料資源の有効活用や、地球温暖化の抑制ができる。また、発展途上国を中心に、8億人以上が、十分な量の食べ物を口にできず、栄養不足で苦しんでいる。そのような人達にも、十分に食べ物があるような将来になるといいと思う。

活動の内容

人参をほとんどまるごと使ったスープをつくった。食べられなかったところは芯だけだった。芯は、火を通して、柔らかくならず固くて、食感が気になったので取った。人参スープの材料は、人参、ニンニク、顆粒コンソメの3つだけなので、手軽につくることができた。食べた感想は、人参の皮を剥かなくても、美味しく食べることが出来たし、栄養も多く摂ることが出来るので、人参の皮は剥かなくて良いと感じた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チーム鈴木（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

募金で貧困をなくそう！

活動の動機

中学の時に2の飢餓をなくそうという目標について調べたことがあり、他の目標についても知りたいと思ったので、貧困をなくそうという目標にも興味があったので調べようと思った。



取組・活動 実施日

令和3年7月25日から令和3年8月3日

ゴール

1 10 16

解決したい地域の課題

世界中でも貧困があることは知られているが、日本にも貧困の人がいる(特に子供)ことを伝えたいと思ったからです。

目指す将来の姿

世界中を極度の貧困である人をなくし、世界が定めている貧困ラインを下回っている人を半減させること。国の制度やインフラを整え、どんな人でも食べるものや医療を受けられるようにすること。

活動の内容

1日目も2日目も駅や色々なお店や公共施設で募金活動をやっていなかったので、家の近くのコンビニエンスストアで買い物をした後、募金をしてきた。まだ自分でお金を稼いでいるわけではないので、ほんの気持ち程度のお金しか募金できなかったけれど、少しのお金でも役に立つと思うので2日間で計100円の募金をしてきた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

服めっちゃあげたいズ（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

みんなに服を届けよう

活動の動機

貧乏人の世界の子供達は服を十分に持っていないから、服を届けることにより、服をみんなが着て生活をして欲しいから。



取組・活動 実施日

令和3年8月22日

ゴール

12 16

解決したい地域の課題

金銭面的や、服を買うことの出来ない環境の人達が自分達がいらなくなった服を着てより良い世界を目指していきたい。

目指す将来の姿

いずれかは、服がみんなが着れるようになり、服がボロボロだったり、裸の人達がいらないようなより良い世界を目指す。

活動の内容

ユニクロが行ってるリサイクル活動を利用して、UNIQLOに家族がいらなくなったUNIQLO製の服をUNIQLOに置いてあるリサイクルBOXにUNIQLOの服を入れる

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

次の人へ！

活動の動機

この課題をきっかけに調べたSDGs問題。社会問題の現実を知り、高校生の私に何ができるかを考えました。SDGs問題解決への第一歩として衣類廃棄に着目しました。



取組・活動 実施日

令和3年八月1日から令和3年八月三十日

ゴール

1 12 16

解決したい地域の課題

コロナ禍で仕事を失くし困っている人が快適に過ごせるように使わなくなった服や物を寄付して笑顔になってもらう。

目指す将来の姿

世界中の、私と同世代の人々が生活に困窮しながらも、お洒落を楽しむことができるようになってほしい。多くの人が着なくなった服を捨てるのではなく生活に困っている人に寄付してほしい。

活動の内容

世界で約60%の衣服が廃棄されていることを知り、豊橋のゴミステーションやユニクロの「RE.UNIQLO」を利用することにしました。私の着ていた服が難民への衣料支援やCO2削減に役立つ代替燃料へ活かされるといいなと思い持ち込みました。しかし、豊橋市で集められた衣服がコロナ禍で海外へ輸出できない現状があることを知りました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

フェアトレードについて

活動の動機

フェアトレードの取り組みはSDGsが掲げる17の目標の多くに関係しているからです。自分たちは恵まれていることを自覚したら苦しんでいる方々を助けるべきだと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月30、31

ゴール

1 2 16

解決したい地域の課題

フェアトレードの取り組み国であるアフリカや中南米の貧困状態をなくすこと。1番は児童労働がなくなり子供が学校に通えるようになること。そして働く環境をよくなり、生活水準を上げること。

目指す将来の姿

日本国民がフェアトレードに詳しくなりその商品を買ひ、でたお金でそれぞれの取り組み国の課題をなくすこと。1番は児童労働がなくなり、子供が皆学校に通えるようになること。他には途上国の働く環境がよくなり、生活水準がたかまることだ。

活動の内容

フェアトレードを取り組んでいるアフリカや中南米が何を目的としていたやっているのかを調べた。児童労働をなくすことや働く環境をよくなるなど日本ではもう当たり前と思うようなことを目的としていた。だから貧困の方達を助けるべきだが、日本は年間一人あたり約90円しか商品を購入していないという結果がでた。そして少しでも力になる為にフェアトレードの商品を購入した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

いちごん（1人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

障害の壁を超えて偏見をなくす社会作り

活動の動機

今までの福祉に関する経験をきっかけに、もっと一般の人と障害を持つ人とが接する機会を増やして偏見を無くしたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月2日から令和3年8月13日

ゴール

3 16

解決したい地域の課題

障害者の方と一般の方の距離が遠いことによって自然と差別意識がついてしまう。

目指す将来の姿

バリアフリーやユニバーサルデザインの広がりとともに障害者の方が安心して生活できる社会の設立。一般の人の障害者の方への理解を深めるとともに互いの距離を縮める。

活動の内容

福祉体験講座に参加し、スタッフの手伝いや障害者の方と接する。手話を曲でできるようにする。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

使用しなくなった服でマスクを作ろう

活動の動機

私は学校の授業でSDGsを学びました。服や食べ物に困っている人々がたくさんいると知って私に何か出来る出来ないかと思ったのでこの活動をしようと思いました。



取組・活動 実施日

令和3年8月15日から令和3年8月17日

ゴール

12 10 16

解決したい地域の課題

服が無くて着れない人々に自分たちが使用しなくなったものや着れなくなったものを再利用して、少しでも困ってる人を減らせるようにすることです。

目指す将来の姿

生活が困難な人々が少しでも充実した生活が送れるような世の中になればいいなと思いました。そのために、自分が学んだことを生かし、ボランティア活動などを積極的に取り組んで自分の周りの人たちにも呼びかけたいです。

活動の内容

つくる責任、つかう責任についてや日本がやっている取り組みなどを調べました。。また、使わなくなった服や着れなくなった服を使って今のコロナ禍に必要なマスクを作りました。普段は捨ててしまう服でもいろんなものを作ることができるのでこれからも再利用できるものは利用していきたいと思いました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

生活が困難な国について調べ服を寄付する

活動の動機

生活が困難な国があることは知っていましたが、どのくらいあるのか、どうして、どのように困難なのかは知らなかったので調べてみようと思ったからです。そして自分もなにか力になりたいと思い、服を寄付しました。



取組・活動 実施日

令和3年8月15日

ゴール

1 10 16

解決したい地域の課題

貧困を無くすことです。豊橋駅などでホームレスの方をよく見かけます。誰もが最低限の生活をするために、募金活動をしたり働きやすい環境をつくる必要があります。

目指す将来の姿

生活が困難な人になるべく0に近づける事です。そして、生活が困難な国を差別することなく生活する事です。みんなが生きやすく、過ごしやすい世界になってほしいです。そのためにみんなで協力をし、今自分に出来ることを一人一人が考え、実行すれば時間はかかりますが、解決に近づくと思います。

活動の内容

生活が困難な国について調べました。まずは生活が困難な国は日本政府が承認している国が196カ国ある中の140カ国が開発途上国と呼ばれる国である事がわかりました。次に貧困の理由と現状です。1番の理由は収入が少ないといった経済的なものである事がわかりました。私に出来ることは何か考えた時にいらなくなった服を寄付することなら出来ると思い、服を寄付しました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

みんな平等に

活動の動機

女の人は家事をして当たり前、男の人は仕事をして当たり前というそんな当たり前がまだ残っていると思うから



取組・活動 実施日

令和3年8月31日

ゴール

10 17 16

解決したい地域の課題

- ・地震が来た時など避難場所までの道のりで危ない所はないか
- ・道がせまいため車が自転車が両方通れないとき声のかけあいが大事だと思った。

目指す将来の姿

- ・家の事はお母さんだけでなく、自分で出来ることは自分から進んでお手伝いが出来る姿。
- ・やらされているのではなくて、お手伝いにも家族だんらんで楽しく取り組める姿。
- ・家の事、自分の事はやってもらって当たり前ではなくみんながはやくから自立できる姿。

活動の内容

1週間家族で曜日によって家事が変わり、それをみんなでこなしていく。
 (例…月曜日 お皿洗い→兄、お風呂掃除→自分、洗濯物→弟 火曜日 お皿洗い→自分、お風呂掃除→弟、洗濯物→兄) など。
 ただやるだけでは続かないし、楽しくないため、音楽をかけながらや競走してみたり家族でゲームをしながらなど家事をしながらでもだんらんが作れるようにした。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

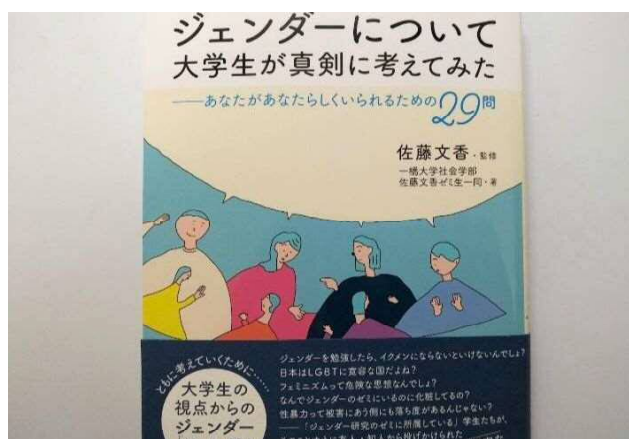
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

どうしたらジェンダーは理解されるのか

活動の動機

前から興味があった、ジェンダーについてもっと詳しくして、少しでも偏見の目が減るには何をしたらいいのか知りたいと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月17日から8月31日

ゴール

1 10 16

解決したい地域の課題

ジェンダーについてのことではないけれど、周りとの交流や話す機会というのを大切にして、お互いを尊重し合うような習慣をつけて生活するのが大切だと思います。

目指す将来の姿

友達や、家族というような、身近にいる人たちとの交流の中で、ジェンダーについての考えや意見を交換したりして、関心を深めていけたら、偏見や、差別が減っていくと思います。それによって悩んでる人が減っていくのが理想の将来の姿だと思います。

活動の内容

まずは、ジェンダーについての知識を増やすために、本やインターネットでジェンダーをしらべました。そして、家族や友達にジェンダーについての考え方をきいてみて、意見を共有したりしました。

ジェンダー平等を実現するために私たちができることはなにがあるのか。というアンケートをSNSを通して取ってみました。同じ考え方をしている人もいたので、もっとジェンダーへの関心を持つ人が増えるといいなと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東高校2年7組1班 (5 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

質の良い教育を！

活動の動機

SDGsについて教育という視点で調査を始めたが、私達は外国の問題ばかりだと思っていた。しかし、調べていく内に豊橋市にも関係があるということに気づけたため、もっと詳しく知りたいと思ったのが動機である。



取組・活動 実施日

令和3年7月から10月まで

ゴール

4 11 16

解決したい地域の課題

授業で調べていた時に見た資料の中に豊橋市内の不登校者数の推移のグラフが出てきて、私達はそれに注目した。不登校者数は多いように見えたが、改善されていなかったため、それが課題だと思った。

目指す将来の姿

不登校の子に必要なことは、外で勉強ができて、かつ地域の人との交流ができる環境が必要だと考え、児童クラブや校区市民館をうまく利用することがベストだと思った。アンケートでそれらの施設を利用している人の数が少ないとわかったが、魅力的な面を多く打ち出し、利用する人を増やしていきたい。

活動の内容

学年全体を通して校区市民館や児童クラブの利用について、授業後の生徒達の過ごし方について追求していく形でアンケートを取った。その結果、校区市民館の利用頻度は月間、年間数回と少なく利用している人の活用法としては主に自主学習や地域の活動であった。次に授業後の児童クラブの利用率については半数には満たず、宿題をしたり、または遊んだり過ごし方は自由であった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東7組2班 (5 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

インフォピアに行ってきた！

活動の動機

現在、新型コロナウイルスの影響で日本経済は大きな打撃を受けている。この混乱の中、支援金、ワクチンの申請の書類などを外国人達は私達日本人のように円滑に取り組んでいるのか活動を通して調べることにした。



取組・活動 実施日

6月中旬から10月下旬

ゴール

3 11 16

解決したい地域の課題

現在、日本語が分からないために生活に苦労している外国人のための相談窓口はあるのに、その存在を知らない人がいる。そこで私達はこの窓口を知ってもらい外国人が少しでも住みやすいまちにするべきだと思った。

目指す将来の姿

外国の方と接すると聞くと、大変なことに感じる人が多いと思う。しかし、外国人など関係なく、同じ人として優しく接することが1番だ。優しく接したら外国の方は日本のことを知ることができて、日本を好きになってくれるかもしれない。この循環を基に誰もが心地よく住める地域を目指すべきだと思う。

活動の内容

私達は、豊橋市国際交流会取材した。そこで、相談員の五十嵐さんと周さんにインタビューをし、現在の豊橋市に住む外国人の状況、インフォピアは外国人からどんな相談を受け、どう対応しているのかを聞いた。相談員の方はとても優しく対応してくださり、外国人がいつも受け取っている問診票などの書類や現状を表したデータを見せてくださり、現状の問題点やこれからの解決策を分かりやすく教えていただいた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

加藤孝規とその愉快的仲間たち（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

登下校におけるAEDの位置

活動の動機

私たちが住む愛知県は、全国で最も交通事故が多い県の一つです。そこで、もし事故にかかわることがあった時に、人の命を救う行動がとれる人が1人でも増えるといいと思いました。



取組・活動 実施日

令和3年7月22日

ゴール

11 16

解決したい地域の課題

愛知県は、全国で交通事故が最多で死亡者数もとても多いです。そこで、私たちは死亡者数に着目し、交通事故後すぐに救助活動に移行して生存率をあげることができるように備えておくということを課題にしました。

目指す将来の姿

目の前で人が倒れていても、すぐに対処できるようにAEDの場所、使い方を認知しておくことが大切です。今はAEDの研修を行っている学校が多く、AEDの使い方を知っている学生が増えてきています。しかし、AEDの場所を知っている学生は5割と少ないです。知識を無駄にしないよう場所も把握しておくことが大切です。

活動の内容

学校から豊橋駅までにあるAEDの場所を調べました。今、ネットで調べればAEDの場所がわかるサイトもある中、自分たちの足で実際に赴き、自分たちの目でAEDのある場所を確認することで、AEDの認知度が低い以外の問題を見つけました。また、自分たちで学年にAEDに関するアンケートを取りました。その結果、高校生目線でのAEDの認知度、AEDに関する関心など、様々な問題をグラフに表すことができました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

安全安心隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

豊橋駅周辺の人混みについて

活動の動機

新型コロナウイルスが流行し、これまで、何度も緊急事態宣言が発出されている。感染の危機感が薄れつつある状況の中、豊橋市の健康のために何かできることはないかと思い、調べることにした。



取組・活動 実施日

令和3年8月12日から令和3年8月14日

ゴール

3 11 16

解決したい地域の課題

新型コロナウイルスの第5波では、豊橋市の感染者が約500人になり、至るところに危険が潜んでいる。そこで、感染者数の増加を防ぎ、より安全に生活できるようにしていくことが課題である。

目指す将来の姿

現在、人類はコロナ禍という自然の猛威にさらされている。人類がこの強敵に打ち勝つためには、コロナから逃げるのではなく、現状を知り、当事者意識をもって立ち向かっていく必要がある。皆が周囲に気を配った行動をして、コロナ禍の収束を目指したい。

活動の内容

豊橋駅の東口を通る人数を、6時、12時、18時の3回に分けて3日間計測した。6時では、毎分約110人が通り、通勤や通学の人が多かった。12時では、毎分約50人が通り、今回の調査では最も人通りが少なかった。18時では、毎分約100人の人が通り、駅内へ入っていく人が多く、駅周辺よりも、駅内の混雑が多かった。全員がマスク着用しており、間隔を空けて歩く様子も見られた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

スポーツ促進隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

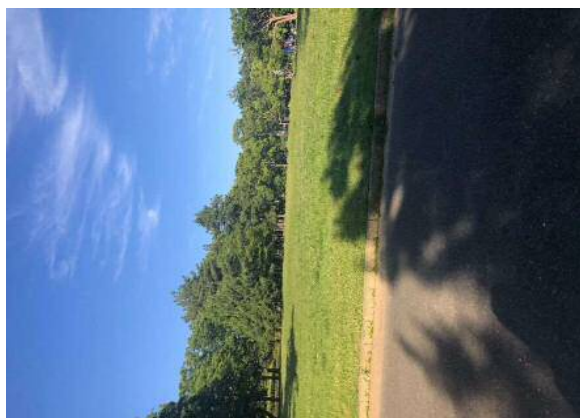
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

誰でも使える公園探し

活動の動機

コロナ禍で、小中学生の部活動の停止などにより、運動の機会を失っているのが、多くの人たちが運動不足に陥っているのではないかと思います、自分たちにできる活動があるかを考え、調べてみました。



取組・活動 実施日

令和3年8月3日

ゴール

3 11 16

解決したい地域の課題

小学生・中学生の部活の停止をはじめとして、高校生でさえも運動する機会が減っています。運動不足は健康に害を与えるので、地域全体として健康を保つために運動する習慣をつけることが必要だと思いました。

目指す将来の姿

みんなが健康で、地域で仲良く暮らしていけるのが目指す将来の形です。例えば、地域でスポーツの大会や、レクリエーションを催し、それを通して、人々の交流が増え、高齢者の生きがいに繋がります。また、若い人が参加することによって様々な年代交流することができ、地域の活性化が期待できます。

活動の内容

私たちは、運動不足解消のために幅広い年代が使える公園、またそこで人々が何をしているのかをいくつかの公園に行って調べてみました。高師緑地公園、運動公園、万場調整池に行ってきました。実際に行ってみると、たくさんの子供たちが遊具で遊び、歩いたり、走ったりしている人も多く見えました。たくさんの方が利用していたので、これからも持続的に活用して欲しいと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

なののさんはん（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

知ってみよう！防災マップからみる豊橋

活動の動機

オリジナル防災マップを作るに至ったきっかけは、殆どの人が災害、緊急時の避難場所を知らないのではないかと考えたらである。また、分かりやすいマップを作り、より地域について知ってもらいたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年10月28日

ゴール

11 3 16

解決したい地域の課題

高校生は災害、緊急時に率先してお年寄りや子供を誘導し動くべき立場であるにも関わらず校内約70%がAEDの場所を知らず、約90%が避難場所を知らないため、人を助ける以前に自分の身すら守ることが出来ない。

目指す将来の姿

各々が災害時に焦らず、冷静に判断できるような地域にしたい。回覧板などで防災バックの中身をリスト化し、各家で準備する。それを地域の防災訓練へ持っていく、中身を確認する。また、仕事場と家にいる時と最低2つの避難場所を把握しておく。これらを実行に移すことで目指す将来の形が見えてくるだろう。

活動の内容

学校内で豊橋駅周辺の避難場所を知っているのは約10%。学校外でAEDがある場所を知っているのは約30%。防災バック、非常食を家に常備しているのは約60%という結果になった。この結果より、生徒たちの多くが災害、非常時に助けられる立場でないため、豊橋駅周辺の避難場所やAEDの場所について知ってもらいたいと思った。そこで、自分達でオリジナルの誰でも見やすい防災マップを作った。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チーム校則（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

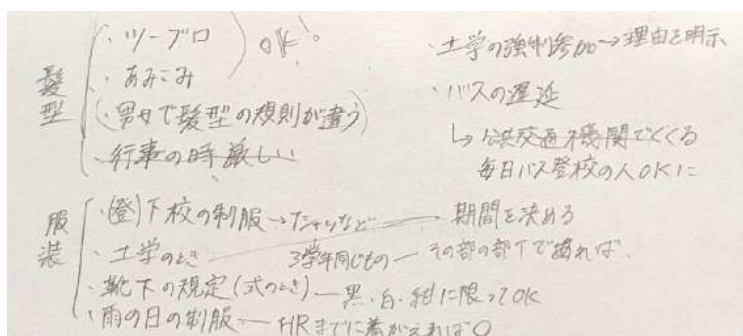
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

校則から見た学校の過ごしやすさについて

活動の動機

ニュースなどで、「ブラック校則」が取り上げられているのを見て、自分たちの学校ではどのような意見があるのかを調べ、より学びやすい環境に近づけたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年7月20日から10月6日

ゴール

4 10 16

解決したい地域の課題

将来社会で生きる上でも必要な最低限のルールを、ことを踏まえた上で、生徒が疑問に思う細かな校則が存在していること。どんな理由で存在するのか分からないような校則があることの改善をめざす。

目指す将来の姿

適切な校則を作ること、誰もが居心地よく、学校教育を、受けられる環境を目指す。高校生という血気盛んな時期に、学校を校則を守りつつも、自由が尊重され、また心や体の成長を促すような場所に、していきたい。今後自立していく我々にとって、社会のルールに、適応できる能力を学校生活を通して身につけていく。

活動の内容

「classi」というアプリを利用し、アンケートを実施。対象は本校の2年生320人で、「本校の校則・ルールで疑問に思うもの、変えて欲しいものを教えてください。」と呼びかけた。また、本校と周辺の学校との校則の違いを把握するために、班員それぞれが知人等を通じて調査した。収集した情報を基に生徒の意見また、社会の一員としての意見を考慮した上で、本校の校則を今一度見直し、改正案を作成した。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

RYN （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

豊橋で安全安心に暮らすための取り組み

活動の動機

私たちの住む地域では将来大きな災害が予想され、その時来るのが遅くなればなるほど高齢化が進むことになる。その時、防災減災において私たちの役割は大きくなるので、私たちの意識を高めたいという動機。



取組・活動 実施日

令和3年9月9日

ゴール

11 3 16

解決したい地域の課題

日本ワースト1の事故率や南海トラフ大地震を筆頭に懸念される災害への対策、それに対応する地域のつながりの強化。

目指す将来の姿

10代から20代の若い世代の防災、交通事故対策の意識の向上と実行意識を持つ。交通事故や災害について起こり得る現状を知り、対策方法を自ら考えることのできる人、実際に行動に移すことのできる人を育成する機会を設ける。身の回りの危険に気づいた人が協力を求めることのできる手段をつくり、市民が助け合う豊橋市。

活動の内容

意識調査をとして校内でアンケートを実施した。防災面では、防災用の備蓄の有無、また何日分の備蓄をしているのか、ハザードマップをみたことがあるか、交通事故では交通事故の経験があるか、どの場面であったかを調査した。防災バッグを用意しているのは全体の3割、交通事故の経験がある人は1割だった。家族人数の3日分を備蓄していて高い意識を持っている人もいるがまだまだ意識の低い人が多いという結果になった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

SMAP (5 人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

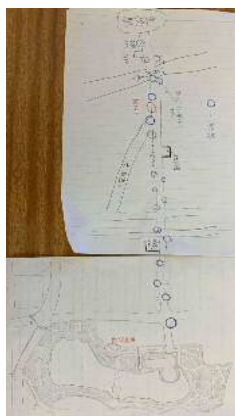
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

SD地図

活動の動機

皆さんは南海トラフ地震についてどのくらい知っていますか。現在、南海トラフが30年以内に起きる可能性は80%と言われています。そこで、通学路にある防災機器や危険な場所について調べてみることにしました。



取組・活動 実施日

令和3年8月16日

ゴール

11 3 16

解決したい地域の課題

災害は、いつどこで起こるのかわかりません。しかし、地域の避難場所や災害時の対処法を知らない人は多くおりとても危険です。そのため、避難場所や防災機器がある場所を多くの人に知ってもらうことが課題です。

目指す将来の姿

私たちの作ったマップを見ると、避難場所や防災機器の場所を知ることができます。そのように、避難場所や防災機器の場所を把握していれば、もし登下校中に災害が突然起こったときでも、適切な対処ができます。そのように、子どもや学生でも自分で自分の身を守り、また、他の人も助けることが社会を目指したいです。

活動の内容

私たちのグループは、登下校中に災害にあったときを想定し、東高校から豊橋駅までの道のりを歩き、通学路上の防災機器や危険な場所を探しました。すると、消火器はおよそ50m間隔、場所によっては見渡すといくつも目に入るくらい通学路には多くの消火器があり、大池には備蓄食料や応急資機材が入っている防災倉庫がありました。そして、その場所を知って自分の身を守ることができるように、詳しい場所を地図に記しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

Honey チュ〜リップ with 愛 （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

豊橋市の都市基盤と交通安全について

活動の動機

私たちがこの活動を始めた動機は、愛知県の交通事故による死亡者数が全国最多であり、また昨年には本校の生徒が交通事故に遭う事件もあったので、より一層交通事故防止の意識を高め注意を促そうと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年7月20日

ゴール

11 16

解決したい地域の課題

愛知県は交通死亡事故が多く、またその中でも豊橋市は多くなっている。信号機、カーブミラー、見通し、車道、歩道といった道路環境の危険な箇所を改善し、安心、安全な交通環境の整備という課題を解決したい。

目指す将来の姿

私達が目指す将来の形は、都市基盤の観点から、交通事故の原因となる要素を改善し、少しずつ交通事故の数を減らしていくということです。また、豊橋市を中心として交通事故の発生率を減らしていき、愛知県が交通事故による死者数ワーストワンを脱出できるようにしたいです。

活動の内容

豊橋市の中でも人通りが多い駅前と、そこから東高校までの道のりであぶない場所を調べた。駅から郵便局まで、歩道のタイルが飛び出しているところがある、大通りに繋がる細道が店や塀などで見通しが悪い、文化会館前の道のりでの車のスピードが速い、大池公園から東高校の近くへ出る道で、歩道が狭かったり、塀があったりして見通しが悪い、歩道と車道の段差、などがあった。